

Tohoku University STEM Summer Program 2018 における講義と下張り文書保全のワークショップを開催しました(2018/7/9)

テーマ：歴史資料の保全手法、国際交流
場所：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

7月9日(月)に災害科学国際研究所において Tohoku University STEM Summer Program 2018 (TSSP2018)の一環として、ワシントン大学・カリフォルニア大学・ノボシビルスク大学の学生22名が本研究所を訪問しました。当日は、蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門）が講義とワークショップを担当しました。講義“Study of Japanese historical disaster and culture”では東日本大震災における被災資料のレスキュー活動や、災害科学国際研究所における文理融合型の歴史災害研究について紹介し、その後のワークショップでは被災地からレスキューされた屏風の下張り文書の剥がし作業や被災資料の洗浄を行いました。



文責：蝦名裕一（人間・社会対応研究部門）